

# 言語指導(日本語指導)の大きな流れ

---

- 「生活言語」を育て「学習言語」へつなぐ
  - 発達の節目としての「5歳の坂」と「9歳の峠」
    - 5歳の坂: 生活経験レベルで(他の人の経験や擬似的経験も含めて)日本語による伝達(理解・表現)が自由になってくる。
    - 9歳の峠: 主として読み書きを通して、抽象的表現など、生活経験レベルを越えた言語表現を学習し始める。
  - 「生活言語」の質を高めつつ、読み書き能力と結びつけることによって「学習言語」獲得へ、「9歳の峠」を越える言語活動、教科学習へ
  - 学習言語を生活言語に繰り入れるための働きかけは必要
-